

第119番組審議委員会議事録

日時：令和7年11月26日（水）13時30分～

場所：市民活動センター/コミュニティf（富士市吉原2丁目10番20号）

1.委員総数9名

2.出席人数6名

3.出席委員の氏名

吉野渉 委員長・長橋順 副委員長・笠井正樹 委員・内藤祐樹 委員・渡邊朱美 委員・清末明美委員

4.放送事業者出席者名

山本茂 放送局長

山本局長：本日はお集りいただき、ありがとうございます。今日は119回目の番組審議となります。皆様よろしくお願ひ致します。それでは番組審議委員長の吉野様、一言よろしくお願ひ致します。

吉野委員長：本日も皆さんよろしくお願ひします。最近、インフルエンザなどで小学校とかでも学級閉鎖とか色々ある中で、こうしてまたお集まりいただけて、すごく嬉しく思います。本日もよろしく御願ひ致します。

山本局長：ありがとうございます。本日、小沢が欠席で、ご挨拶文を代読させていただきます。

代読「番組審議委員会の委員の皆様へ 拝啓、暮秋の頃、委員の皆様にはお変わりなくご健勝のこととお喜び申し上げます。去る11月7日(金)には、ラジオエフ20周年記念祝賀会が行われ、盛大に開催することができました。ご参加いただきました、委員の皆様ありがとうございます。これからも、安心安全なまちづくり、市民に寄り添った放送局として、頑張って参りますので、引き続きラジオエフをご愛顧下さるようお願い申し上げます。さて、今回（今月11月）から新たに番組審議委員として清末明美様が審議委員として新たに加わり9人となりました。清末さんは、富士市伝法にてコンディトライ東洋堂（菓子製造業）を営んでおります。本来なら、私から紹介すべきですが、本日別の社用にて同席できませんので審議委員のメンバー（令和7年11月～9年10月）としてどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。敬具 小澤」

との事です。本日も忌憚のないご意見をよろしく御願ひ致します。

吉野委員長：ありがとうございます。それではこれまでご多忙で来ることが叶わなかった笠井さんと今回からメンバーになった清末さんに自己紹介を御願ひ致します。

笠井委員：改めまして皆さんこんにちは。私、富士宮商工会議所議青年部の直前会長として、昨年会長をやらさせていただきました笠井と申します。富士宮市にある笠井電化センターを営んでおります。IT機器の保守や販売、それから電気工事をやっている会社になります。これまで参加できず大変申し訳なかったと思うんですが、これから、頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

吉野委員長：では、清末委員御願ひします。

清末委員：伝法の東洋堂、洋菓子のお店を営んでいます清末と申します。主人が九州出身なので、珍しい苗字で「きよすえ」と読みます、よろしくお願ひいたします。話すことはあまり得意ではないんですが、お声をかけていただいてありがとうございます。番組審議委員会の議事録を読んでいると、とても濃密な審議をされていると考へております。皆様と同じ様な意見が言えるかプレッシャーはありますが、良い意見が出せる様頑張って参

ります。よろしく願いいたします。

吉野委員長：ありがとうございます。

山本局長：ありがとうございます。

そして、お知らせですがラジオエフが11月で開局20周年を迎えました。そこでラジオエフの20周年記念イベントとして、リスナーに番組のタイトルを募集し、決定しましたのでお知らせいたします。

平日月～木曜日朝の番組「f-times」が「おはよう富士山、いただきラジオ」、水曜日お昼の番組「Be Smile」が「Make Happy」土曜日の午前中番組「FUN FUN Saturday」が「土曜だ わっしょい！」となりましたのでご報告させていただきます。

また、前回ご審議いただいた「吉原なつかし堂」のコーナー「俳句投句（はいくとうく）」についてですが、17年以上続いたコーナーだけあって熟考されている事、講評を話してくれる先生の好印象など全体的に良い評価であったのかなと感じております。また、SNSなどで読まれた人の句や落選してしまった句の紹介をする、継続して投稿してくれる人を作る事について課題も見えてきました。制作担当とも情報共有し、今以上に長く続けられるよう検討してまいります。

さて、今回ご審議いただく番組ですが、毎週水曜日午前11時30分から午後3時30分に放送している「Be smile」、現在の「Make Happy」です。毎月最終週に放送しているコーナー「富士市社会福祉協議会はあとふるトーク」です。このコーナーは富士市の社会福祉協議会がスポンサードしているコーナーで、10月29日放送された富士市災害ボランティア連絡会会長と富士市社会福祉協議会ボランティアセンターの担当の方が出演された回です。それではお聴きください。

番組審議

- ・ 審議番組 吉原なつかし堂 内「俳句投句」

(15分程度)

- ・ 放送日時 令和7年10月29日 水曜日 15:10～
- ・ 出演 ナビゲーター：ほりえかおり
富士市災害ボランティア連絡会会長 清水俊雄
富士市社会福祉協議会 ボランティアセンター 山本彩都
- ・ 番組編成制作方針、説明
- ・ 質疑応答

山本局長：ご検聴ありがとうございました。富士市社会福祉協議会さんとは長くラジオエフと関わっていただいている、今回は11月に開催した「ふじ BOUSAI」の関係で出演いただきその回を聴いていただきました。それでは吉野委員長、審議を御願ひ致します。

吉野委員長：はい、まず私から感想を言わせていただきます。番組自体、大まかに何を伝えたいかっていうのは分かったんですけど、番組概要の内容でやっている感じも伝わりました。ただもうちょっと深掘りしても良かったのかなって個人的には思った部分がありました。直近のイベント紹介だけじゃなくて、年間通して春とか夏にどんなイベントがあるのかを最初話しても良いのかと思います。そして、今回のイベント紹介についても子供対象

のゴミ袋で防寒具を作る体験、学生さんがブースを持つなどありましたが、一つ一つをもう少し深掘りすれば、もっと行ってみたいくなる紹介になったんじゃないかなと思います。SNSなどの誘導もあってなんとなく伝わったという感じです。それともう一つちょっと気になったのが、BGMのギターの音がちょっと大きいのかなと。聴いていて耳がそのギターのBGMに取られてしまった箇所があるので、会話に集中したいなと思いました。続いて渡邊さんいかがですか？

渡邊委員： はい、私からは単純に聞いていて、富士市の社会福祉協議会がこういう番組を持っているのは、とてもいいことで、素晴らしいことだと思っていました。富士宮の社会福祉協議会は持ってないですね。地域の活動をしている立場から言うと、富士宮の社協の方ももっと積極的にこういうのに参加してくれると良いなというのが、第一印象です。そして、委員長のお話にもありましたが、どうやったら行きたくなるか、内容の話があっても良かったと思います。例えば、消火器の使い方をやるよとか、他の具体的なイベント内容の紹介はなかったですね。そういうのがあれば、もっとさらに行きたいと感じました。

吉野委員長： ありがとうございます。笠井さんはいかがですか？

笠井委員： そうですね、この防災に焦点を当てたコーナー、中身はすごく貴重なものだなと感じました。私も渡邊委員さんと同じで富士宮の社会福祉協議会もやったら良いのになと思いました。こういう内容が連続的に、イベントの結果やその後どうなったのかがあれば、聴く人も増えていくのかな、なんて思いました。

山本局長： このコーナーは富士市の社会福祉協議会のメンバー・協力者の皆さんがそれぞれの活動の告知やイベントの告知をするという事で、その枠を富士市社会福祉協議会さんがもっているイメージを持っていただけると幸いです。

笠井委員： なるほど。今回たまたま防災という視点があったという事で、別コーナーで防災に関しては連続してもあっても良いのかなと思いました。また、僕の個人的な意見なんですけど、社会福祉協議会さんそのものがよく分からない人が聞くと、『知っている人しか分からない』イメージがすごく強いと感じました。逆に「災害ボランティア連絡会」だけでも分かりやすく、社会福祉協議会が何をしているのかが聴いていて分かるような内容があっても良いのかなと思いました。内容としても皆に広く聴いてもらいたい事だなと感じました。

吉野委員長： 確かに私たちは番組の資料をみて誰が出ているのか分かっているうえで聞いていますが、ラジオで聞いている人からすると話す人が複数いると誰が何を話しているのか頭がこんがらがっちゃう部分がありそうですね。

渡邊委員： 関わっていないと中身が分からないものですね。

笠井委員： ラジオって割と聞き流す感じですので、そういう風を感じましたね。

吉野委員長： では、長橋副委員長はいかがでしょう？

長橋副委員長： 私自身、ボランティア連絡会とか、社会福祉協議会の中にボランティアセンターがあるなんて知りませんでしたので、知る事が出来て良かったです。コーナーとしてイベントのPRがしっかり出来ていて良かった。その反面、そもそも『社会福祉協議会って一体何をやってるのか』よく分かってない人も多いので、レギ

ユラーコーナーだとしても、冒頭で『社協ってこうですよ』っていう導入的な説明が軽くあっても良かったのかな、と思いました。あと、11 団体の中に、家具の固定をする大工さんなどの団体があるってのがすごく面白くて。だったら、11 団体ってどんな団体が入ってるのか、もう少し紹介してほしかったですね。そこをもっとアピール出来ていると良かったなと感じました。10 分という制約があるのは分かりますが、やっぱりラジオですので、社会福祉協議会の内容と伝えたいことを一つに絞って、それを深掘りしていく方が伝わるのかな、という気がします。

吉野委員長：ありがとうございます。内藤さんはいかがですか？

内藤委員：最初に伺いたいのはこのコーナーは富士市社会福祉協議会のスポンサーで毎月お金を払って社会福祉協議会の PR をしたい事を話しているっていう事ですよね？

山本局長：そうですね。そういう事です。

内藤委員：そうなるかと構造的に難しいと思うんですが、社会福祉協議会がその月に何か PR をしたいかを検討して、出演者を加盟団体から募って毎回出演してもらっている。社会福祉協議会の人には毎回出演する必要があるって、たまたまイベントがある等の人が出演している。そうなるかと、課題がどう解決するのかどうかって中々わからないのかと思います。

笠井委員：それもそうなんですが、社会福祉協議会が何をしているのか？ここを話さないと、聴いている人からすると、今回でいうとボランティア団体の PR をしている。という形になってしまう。富士市社会福祉協議会は何を目的に、どんな活動をしているのかを知らせたうえで、PR する団体が入るとより分かりやすく両方の存在・内容がリスナーに入って来るのではと考えています。社会福祉協議会があって、その中でこういう事をしているという大きなところから各団体に流れていく形が良いのではと思います。せっかくコーナーとして良い話をしているのだから、分かりやすさを考えても良いかと思うんですよね。

内藤委員：ふわっとしてて、広範囲にわたっていて、内容がわからない。笠井さんと同じ意見ですが、これを解消するのは難しい番組なのかなと思います。福祉協議会の方が出演して、その福祉協議会からゲストを招いていると構成に難しさを感じます。その時の話したい事は何か？のみを聴いてしまった方が良いのかなとも思います。

渡邊委員：結局ボランティア連絡会の紹介と今度のイベントの紹介が入ってしまうので話がこんがらがっちゃっているのかもしれないですね。

内藤委員：意義や趣旨としては内容が網羅されている、それをどこまで分かりやすくするのかだと思いますね。

笠井委員：構成の問題なのかもしれないですね。構成を変えればもっと良くなると思うんです。

内藤委員：個人的には具体的なエピソードがあると理解しやすくなると良いかなと思います。

山本局長：本当に耳が痛いというか、確かにその通りですね。構造的に難しい感じがするっていうのは、私も感じました。こういう番組に限らずなんですけど、スポンサーとしてご出演いただく番組って、コミュニティ FM だとすごく多いんです。そういった場合、制作側も悩むところで、やっぱりスポンサー側は「目一杯盛り込みた

い」という意向があるんですよね。ただ、ラジオとしては1点に絞って掘り下げた方がいいですよ、みたいな、そういう葛藤が度々あります。どうしてもスポンサードされている方の意見が重要視される側面はあります。常日頃、葛藤があます。ちょっと耳が痛いところではあります。

吉野委員長：では、最後に清末さんいかがでしょうか？

清末委員：そうですね、短い時間に色々な事を聞きたいなっていうのが沢山ありまして。若者のジュニア防災士さんたちの事とか、あとは11あるボランティア団体の、それぞれの専門性を生かした活動とか。市民にとって大きな安心につながる団体なので、中身をもうちょっと知りたいなっていうのはありました。

一つ一つ紹介して欲しいとも思いました。今回の災害・防災の事をラジオで聞いて、私自身、簡易トイレとか備蓄もしてない自分に気づいたんです。リスナーさんの防災意識向上につながると思うので、こういう番組が定期的に続けていって欲しいなと感じました。また、委員長さんが仰っているように、私もちょっとBGMのギターの音が大きいかなと思いました。

山本局長：BGMについて承知しました。

吉野委員長：結構難しいですよね。生放送でその場で調整するのって。

山本局長：生放送でBGMの音量と出演者の声のバランスを取るのって、結構難しいんですよね。聞いた時に声が埋もれないように、割と気にしてやっているつもりではあるんです。また、音楽の種類や個人差がありますし、実際ラジオの電波で聞く場合とでは若干違う所もあります。改めて、スタッフに注意喚起しておきます。

吉野委員長：ありがとうございます。皆さん、これでよろしいでしょうか？ 以上で終わりにしたいと思います。

山本局長：この審議の内容は社内のほうにも共有させていただきますので。本日はありがとうございます。次回の番組審議委員会は1月21日（水）13：30～で御願ひ致します。

議事録の公表：令和7年12月15日 自社ホームページにて公表